

2024年7月：JaCVAM活動マンスリーレポート

NO.	項 目	記 載 内 容
論文・総説		
1	著者名	Nishida A ¹ , Sawada Y ¹ , Arai R ¹ , Ishibashi N ² , Suzuo M ² , Ohno A, Ashikaga T, Iijima
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ Graduate School of Engineering Science, Yokohama National University ² College of Engineering Science, Yokohama National University ³ Faculty of Engineering, Yokohama National University
	論文題名	Evaluation of the immunotoxicity potential of nanomaterials using THP-1 cells
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	Front. Toxicol., 01 July 2024, https://doi.org/10.3389/ftox.2024.1293147
2	著者名	平林容子, 足利太可雄, 小島肇夫
	論文題名	非臨床安全性評価に用いられる非ヒト霊長類の供給不足をめぐる動き
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス, 2024:55(3):195-197.10.51018/pmdrs.55.3_195
3	著者名	足利太可雄
	論文題名	化粧品開発における動物を用いない皮膚感作性評価法開発の現状
	雑誌名、巻（号）、ページ、年	SSCI-Net News Letter, 2024:6;3-6.

学会発表・セミナー発表		
1	発表者名（ポスター）	徳永朱莉 ¹ , 木下啓 ¹ , 安部賀央里 ¹ , 山田隆志, 足利太可雄, 頭金正博 ¹
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 名古屋市立大学 薬学部 医薬品安全性評価学分野
	演題名	機械学習を活用した皮膚感作性強度予測モデルの開発と解釈性向上に向けた検討
	学会名、発表年月及び場所	第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.3, 福岡)
2	発表者名（ポスター）	足利太可雄, 大屋賢司, 加藤節史 ¹ , 北川剛史 ² , 小島肇, 寒水孝司 ³ , 林克彦, 立花滋博 ⁴ , 益森勝志 ⁵ , 三嶋隆 ⁶ , 楠木俊江 ⁷ , 清水淳 ⁷ , 伏原和久 ⁷ , 宮崎和雄 ⁷
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 島津ダイアグノスティクス株式会社 ² 富士フイルム和光純薬株式会社 ³ 東京理科大学 ⁴ (一財)食品薬品安全センター 秦野研究所 ⁵ 株式会社安評センター ⁶ (一財)日本食品分析センター ⁷ マイキャン・テクノロジーズ株式会社
	演題名	ヒト末梢血から樹立した不死化単球細胞株を用いた発熱性物質検出系のバリデーション研究
	学会名、発表年月及び場所	第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5, 福岡)
3	発表者名（口頭）	飯島一智 ^{1,2} , 山城真輝 ³ , 坂本玲奈 ⁴ , 大野彰子, 足利太可雄
	他機関所属の著者がいる場合には所属機関名を記載する	¹ 横浜国立大学大学院工学研究院 ² 横浜国立大学先端科学高等研究院 ³ 横浜国立大学大学院 理工学府 ⁴ 横浜国立大学 理工学部
	演題名	種々の酸化亜鉛ナノ粒子を対象とした抗原提示細胞活性化能の評価と活性化機序の解析
	学会名、発表年月及び場所	第51回日本毒性学会学術年会 (2024.7.5, 福岡)